

5月8日(火)～5月9日(水) 対兵庫高校春季定期戦 壮行会・定期戦

神戸高校と兵庫高校との定期戦は、さかのぼること105年前、大正2（1913）年に野球の対抗戦が行われ、翌大正3（1914）年から年1回の定期戦として行われるようになった伝統の行事です。

昭和7（1932）年にはラグビーの定期戦も始まっています。

現在のような総合制になったのは昭和42（1967）年からです。前年度に兵庫高校から提案があったことを受け、両校で検討して実施されるようになりました。

平成19年までは春季は兵庫高校で、秋季は神戸高校で行われていましたが、施設の関係で平成20年から春季は神戸高校で、秋季は兵庫高校で行われるようになりました。

春季定期戦の種目は、ソフトテニス（男女）、サッカー、バレーボール（男女）、野球、柔道です。

定期戦は夏に水泳、秋季は剣道、卓球、テニス、バスケットボール、陸上、ラグビーが行われます。

自治会にとっては、最後の大きな行事となります。

◇ 壮行会 5月8日（火）

主将・選手紹介、校長・石川自治会長激励の言葉、選手代表（野球部主将の片岡太志君）あいさつに続き、応援団・吹奏楽部による応援歌並びにエールがおくられました。



主将・選手紹介



選手代表(片岡太志君)あいさつ



応援団・吹奏楽部による応援歌・エール

◇ 定期戦 5月9日（水）

前日夕方から明け方まで雨が降り、グラウンドコンディションが良くなかったため、開会式は、校長室で行うこととなりました。

○ 開会式

両校の出場部のキャプテンと自治会・生徒会が集合し、放送委員会の司会によって執り行われました。

神戸高校長あいさつ、優勝杯返還、選手宣誓（神戸高校野球部主将 片岡太志君）、自治会旗及び生徒会旗交換を行いました。



校長室での開会式



選手宣誓
(神戸高校野球部主将 片岡太志君)



自治会旗及び生徒会旗交換

○ 各競技の様子
<午前>



バレーボール(女) 神戸○(2-0)●兵庫



バレーボール(男) 神戸●(0-2)○兵庫



ソフトテニス(男) 神戸 ●(1-4)○兵庫



ソフトテニス(女) 神戸●(1-4)○兵庫



サッカー 神戸●(2-3)○兵庫



柔道 神戸●(0-3)○兵庫

<午後>

午前中に各競技で盛り上がった後、午後からの野球の試合で締めくくります。

今年も神戸高校、兵庫高校それぞれの野球部OBの方も来られ、応援して下さいました。

保護者の方にもたくさん応援していただきました。アナウンスも流され、両校それぞれが応援団と一体となった応援で、両校あわせて約2千人は大いに盛り上がりました。



応援の様子

5回終了後のグラウンド整備中、恒例となった応援団長が水を浴びて必勝の応援



野球 神戸●(3-4)○兵庫



閉会式

○ 成績 総合優勝：兵庫高校（6勝）（神戸高校1勝）

残念ながら、春季定期戦は、総合優勝を兵庫高校に譲ることになりました。

選手のがんばりはもちろん、自治会、応援団、ご指導いただいた先生方、応援にかけつけていただきましたOBの皆様、保護者はじめご家族の皆様にも感謝申し上げます、ありがとうございました。